

3月8日(水) 水城小校区 「声かけ見守り模擬訓練」

水城小校区自治協議会では、とびうめアリーナ(総合体育館)で訓練を実施し、約30人の参加がありました。この訓練は、近年、認知症の高齢者が一人で外に出て行方不明になることが増えており、見つけた時の声かけについて学ぶものです。初めに認知症の説明や声かけの仕方の講義があり、その後、6グループに分かれて訓練を実施しました。行方不明者役のスタッフが数人いて、グループごとに見つけたら声かけを行いました。訓練終了後は意見交換を行い、訓練を行うことで地域の絆を深めることができ、今後地域で認知症の皆さんを支えていくための第一歩となりました。



3月12日(日) 国分小校区「ペタンク大会」

国分小校区の「ペタンク大会」は、市内の中でも最大規模の大会で、76チームが参加しました。ペタンクは、ルールが複雑でなくだれでもが気軽に競技できるため、子どもからお年寄りまで楽しむことができ、会場は大いに盛り上がりました。実行委員会、スポーツ推進員、多くのボランティアスタッフが協力して開催された「ペタンク大会」は、普段はなかなか接する機会が少ない地域の皆さんの世代間交流を深めるとともに、心身の健康づくりにもつながりました。



4月の校区自治協議会
イベント情報はありません。

さあ 協働を 進めよう

vol.94

問い合わせ 地域コミュニティ課(☎内線543)

1月26日(木)～2月27日(月) 太宰府東小校区「笑いヨガ脳トレ体操」

太宰府東小校区自治協議会では健康維持と認知機能向上のため、1月～2月にかけて校区内の5地区の公民館で「笑いヨガ脳トレ体操」を実施し、東小校区全体で約150人の参加がありました。

「笑いヨガ」とは、笑いヨガの呼吸法を組み合わせた健康体操です。

皆で笑いながら掛け声を出すことで、笑いの伝染力が働き、脳を活性化させ、認知症予防やストレス発散、メンタルヘルス、ガン予防などの効果があるそうです。

会場は笑いに包まれ、参加された皆さんは心身ともにリフレッシュされました。



3月5日(日) 太宰府南小校区 「ダーツ・防災訓練大会」

太宰府南小校区自治協議会では、ダーツ大会と災害時の炊き出し訓練を行いました。この事業はダーツ大会に併せて、校区で災害時に大人数の炊き出し食を準備する訓練を行っており、今年で5回目になります。

ダーツ大会は45チームの参加があり、8パートに分かれて順位を競いました。また、炊き出しは180人分のおにぎりと豚汁が作られ、参加者に配布されました。太宰府消防署員による救命講習体験も行われ、競技の空き時間に多くの人が指導を受けました。

